ふくしま
電友会だより

電友会
NTTグループOB・OGの会
福島地区電友会事務局
TeL・Fax 024-531-7421

第 59号
令和6年1月1日

謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長　山田　斉

明けましておめでとうございます。
　新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。
　昨年は、感染防止の行動規制も緩和されて、各種のイベントが再開されましたが、電友会でも、総会やOB・OG交流会を４年ぶりに開催する事ができました。久しぶりに会う方々が笑顔で歓談されるなど、楽しまれた様です。

1. 新入会員の勧奨！

　今年度も、入会勧奨のツールとして２千円のクオカードを贈呈することにしましたが、その効果か７名の方に入会いただきました。
　ＮＴＴグループ各社に働いている方も準会員として入会出来ますので、お知り合いの方へ入会の呼びかけをお願いします。

２. サークルの参加者を増やしたい！

　サークルの例会等には、電友会の会員及び準会員の他に、会員の家族、現役、その他の方が参加出来ます。
　助成金の対象は、電友会の会員及び準会員となりますが、活動の活性化には、会員の家族や現役の参加は大歓迎です。
　事務局へ報告いただいた、サークルの会員名簿などから見ると、「蕎麦を楽しむ会」では例会開催場所のご近所の方、「麻雀サークル」では現役の方、しのぶゴルフ倶楽部」では会員の家族の方が参加されています。
　サークルへの「お試し参加」を含め、多くの方に声を掛けていただくようお願いします。

３. 長寿への考え方や暮らし方！

　三春町にお住まいの、僧侶で芥川賞作家の玄侑宗久さんのエッセイに「僧侶が長生きするワケ」が有ります。以前見た”職業別寿命”で「僧侶が長寿の第１位」になっていて、その理由を玄侑さん自ら次の様に分析されています。

①僧侶の主な仕事であるお経、座禅、念仏などの効果によるもの

　中公新書「ゾウの時間　ネズミの時間」によるとあらゆる動物は５億回の呼吸を終えると大体死ぬそうだが、僧侶の大事な日課であるお経、座禅などは呼吸数が非常に少なくてすむ。

②「動く仕事」と「動かない仕事」のバランスが良く取れている

③ストレスを引きずらない

　「怒り・悲しみ・憂い・思い」、こうした感情を数多くの葬儀に出ることや座禅、瞑想体験等によって引きずらない能力に長けている。

④「楽しさ・リラックス」を目指す思考法

　「苦」の反対語は「幸せ」ではなく「楽」である。「幸せ」は「お金・長寿・愛情」などに左右され、求めてもきりがない。常に目標が上方修正され「幸せ」を感じ取る暇がない。
　一方「楽」というのは「安楽な状態」で分かるように身体状況を伴い「足るを知る」という感情面での基盤も重要となるので限度がある。
　そして、僧侶は年をとるほどに深い「楽」を味わい、最も円熟するのは、死ぬ間際なのだと思考している。
　以上、僧侶が長生きするのは、主にこの４点の理由によるものだと指摘しています。
　「幸せ」と「楽」との違いは、流石に僧侶ならではの独自の視点と思いました。

　最後になりますが、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。

年頭のご挨拶

ＮＴＴ東日本　　福島支店
支店長　　畠山　良平

新年あけましておめでとうございます。

福島地区電友会の皆さまには、日頃からNTT福島グループの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が５類感染症へ移行となったことに伴い、約3年にわたって続いた多方面の制約が解除され、社会・経済活動が徐々に活性化された１年でありました。

秋には4年ぶりとなる「NTT　OB・OG交流会～電電記念日を祝う会～」を開催し、多くの電友会の皆様との懇親を深められた有意義な機会となりました。改めて御礼申し上げます。

NTT東日本福島グループにおいても、感染症拡大を契機にリモートワークを本格化しましたが、現在はオフィス出社とリモートを柔軟に組み合わせたハイブリッドな働き方を中心にニューワークスタイルを推進しており、事業運営においてもアフターコロナに向けた変化を実感しているところです。

福島の復興・再生という観点では8月に、東京電力福島第一原子力発電所の事故による高い濃度の放射性物質を含んだ汚染水を多核種除去設備「ALPS」等を使用し放射性物質の大部分を除去し「ALPS処理水」として海洋放出したことにより、残念ながら海外からの大量の迷惑電話の着信等の風評被害も生じており、発生から12年たった現在もなお震災の影響は続いています。

このような中、NTT福島グループでは、福島市内を中心にスーパーを展開している「いちい」様と共同で実証実験に取組んでおりました「ベニザケの陸上養殖」について、7月に世界で初めて成功するとともに、収穫した生のベニザケをいちい店舗にて試験販売し地域のみなさまにも実際に味わって頂きました。病気に弱く成長が遅い等の理由で養殖が難しいベニザケの陸上養殖実現に業界内外から高い関心をいただきました。今回の実証を経て、今後地域や魚種を拡大しながら安定した水産資源を作り、地域の活性化に貢献していきたいと考えております。

また、旧窓口を活用した地域交流拠点の開設も進めています。

昨年9月に双葉郡富岡町にある磐城富岡ビルに浜通り地域の復興支援に向けた拠点として自社のサテライトオフィスを設置しました。また同ビルに、富岡町と連携し、地域課題解決に向けたオープンイノベーションの共創拠点である「とみおかワーキングベース」をオープンしました。

更には10月に、須賀川市中心市街地の活力や魅力の向上、持続的に発展するスマートなまちづくりの実現に向け、須賀川市中心市街地に位置する須賀川ビルに、地域内外の多様な人材の交流促進を目的とした地域交流創造施設「須賀川みらいラボ」をオープンしました。

こうした地域とのオープンイノベーションの共創拠点を活用し、地域活性化に向けたワークショップの開催等、産官学連携した地域づくりの取組みを進めています。ぜひ電友会のみなさまにも、様々な機会でご利用いただければ幸いです。

世の中のデジタル化は加速化し、自治体をはじめ地域の企業からも我々ＮＴＴ東日本グループへのデジタル化、ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）に向けた支援に対する期待も大きくなってきております。こうした中、昨年、NTT東日本グループは、パーパス（存在意義）として「地域循環型社会の共創」、ビジョン（なりたい姿）として「SOCIAL INNOVATION パートナー」を掲げました。私たちが日常業務で取り組んでいるＩＣＴ化による業務効率化の応用や、デジタル化による課題解決事例を数多くお客様へ提供することにより、お客様のデジタル化やＤＸの後押しができます。今後もNTT福島グループは、通信事業で培ってきたノウハウ・アセット、地域とのリレーション等を活用し、デジタル技術による地域課題の解決や価値創造、まちづくり等の取組みを通じて、福島の復興・再生に貢献してまいります。

結びに、福島地区電友会の益々のご発展、会員の皆さまのご健康・ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

■NTT福島ｸﾞﾙｰﾌﾟＯＧ・ＯＢ交流会模様

令和５年１０月２５日（水）ウエディング・エルティに於いて、ＮＴＴ福島グループＯＢ・OG交流会が開催されました。

参加者は８４名と前回の平成３０年に比べ約半分となりましたが、参加された方々が楽しみに待っておられたと感じました。

余興では、菊池アヤ子さんに「伊達地方の昔話」を語っていただきました。次に、二階堂政則さんがリーダーのバンド“ふれんず”に「思い出のフォークソング」を演奏いただきました。

その後、カラオケタイムでは、①カラオケクラブの音頭で「ボケナイ小唄」（お座敷小唄の替え歌）を合唱、②伊藤鉄次さん「雨の御堂筋」、③丹治貞夫さん「恋の予感」、④大橋金作さん「宗右衛門町ブルース」⑤清野和正さん「無錫旅情」⑥高橋敬一さん「高原列車は行く」の熱唱に会場から大喝采を受けました。

今回参加した最高齢者の渡部幸雄さん（昭和３年生れ９５歳）に挨拶いただき、現在もゲートボールやカラオケを楽しんでいるとの元気な様子に皆びっくりしました。

今回も、「電電ありの実会」へ募金の協力をお願いしたところ２４，４９４円が集まり、司会の皆川美和子さんから畠山福島支店長にお渡しし、年末の青葉学園慰問時に役立てていただきました。

■文化講演会　開催模様

令和５年１０月２５日（水）の午前に、ＮＴＴ福島グループＯＢ・OG交流会の第１部として、文化講演会を開催しました。

演題は、本部からも推奨されている「健康寿命を延ばす」取組として、講師を福島市保健所の健康推進課様にお願いし、「これからの健康づくり」を講演いただきました。

参加者の身近な話題なので、講演後は質問も出され「お口の健康状態チェック」では、具体的なチェック方法が理解出来た等、大変有意義な講演会となりました。

各 種 会 議 模 様

■第二回役員会　会議模様

　令和５年９月１４日（木）、ＮＴＴ福島支店山下ビル会議室で第２回役員会を開催しました。
　主な議題は、４年ぶりに開催するＯＢ・ＯＧ交流会と文化講演会の準備状況と役割分担等について意見を出し合いました。

■第三回役員会　会議模様

　令和５年１２月１４日（木）、北町「珍萬」で第３回役員会を開催しました。
　主な議題は、令和５年度活動計画の進捗状況確認と、新年会の準備や役割分担等について意見を出し合いました。
　会議終了後は、４年ぶりの忘年（望年）会を行いました。

新入会員の紹介

（加入月日順）

■安部　喜博さん

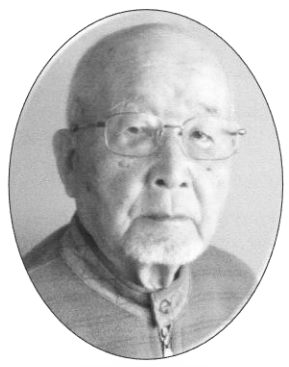
　昭和５１年４月に二本松電報電話局線路宅内課に採用になりました。その後、仙台には２回延べ１７回の転勤を経て、令和５年３月に福島開通コントロール担当（大町ビル）を最後に退職しました。４７年間、多くの人と出会い、またお世話になり、充実した会社勤めを行ってこれた事に感謝しております。線路設備も裸線からメタルケーブルへメタルから光へ変わり、技術の進化も体験できました。
　趣味は、ドライブ・スポーツ観戦・オーディオです。同趣味の方はお声掛け頂ければと思います。退職後は、町内会会長になった事から町内会活動を中心にのんびりと過ごしております。電友会には、先輩からのお誘いを受け入会させて頂きました。同時に「しのぶ里山トレッキング倶楽部」に入会致しました。
　これから、電友会の皆様と長く楽しく交流させて頂ければと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

《お知らせ》
　昨年入会して頂いた方で、今回ご紹介できなかった方は、次回ご紹介致しますので、ご了承願います。
　・羽田　和紀さん
　・遠藤　惠廣さん
　・水野　訓男さん

辰年生まれの方の抱負１/３

（生年月日順）

■渡部　幸雄さん



（１９２８年生まれ）

あけましておめでとうございます。

週３回グランドゴルフに通っています。

球を追いかけて歩いていると、４～５千歩は歩きます。ダイヤモンド賞をとるのが目標です。

クラブ会員のスコアを記入したり、大会の組み合わせや成績の集計などを楽しんでいます。

「ナンプレ」を始めて何年も経ちます。名人位に挑戦して、夜中までかかることもしばしばです。お陰でボケもせずに過ごしております。

■菅野　龍治さん

（１９４０年生まれ）

ＮＴＴを去って、早３３年が経ちました。それで、既に人生もそれなりの歳を迎えており、最近はと言いますと、

１．今までの公私の過ぎし日に一応満足した上で、

２．今、私はどこから来てどこに行くのか、を考え、

３．そして、家内の家事に出来るだけ協力して行こう、と思っておるところです。

■松浦　貞夫さん

（１９４０年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。

年男の今年も健康に留意して過ごしたいと思います。

■山田　昌義さん

（１９４０年生まれ）

明けましておめでとうございます。

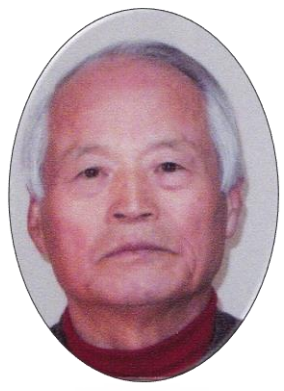
日々、身体的・精神的にも老いを感じていながらも、元気に７回目の年男を迎えられたことに感謝、感謝です。

現在、ジムでの健康体操（週１回）、隣町会の囲碁クラブでの対局（週１回）、近場の日帰り温泉入浴（月１～２回）、最近ではネットでの男の料理に挑戦中です。

これからも小さな楽しみを探しながら健康第一で過ごして行きたいと思っております。

皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。

■三浦　政明さん



（１９４０年生まれ）

今年は、喪中につきそれなりの生活をしようと思う。

悩ましい新年を迎えております。運転免許の更新年で、そろそろ返納も考えておりますが、現状では、車のない生活は考えられません。現在乗っている車は７年、２２万キロでびっくりされ更改期だが新車はもったいないし、眼は白内障で手術を勧められ、認知機能検査や免許取得がうまくいくか心配です。気がかりなのは、運転中のうっかりミスで信号機無視、横断歩道での歩行者がいるのに通過など、助手席の妻は叱責、老化の恐ろしさでは済まされませんね。

この年になると、希望や抱負など改めて持つことなく、ただ健康に留意し畑（約３００坪）を守ろうと思っております。

■渡部　雄次さん

（１９４０年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。

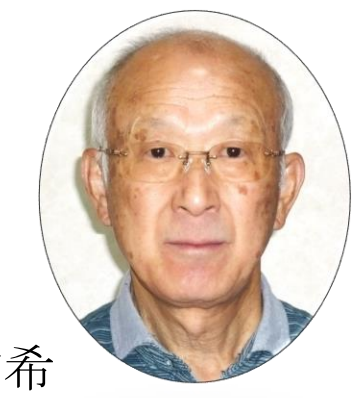
節目の年男を迎え、支えて頂いた皆様へ感謝申し上げます。

皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

辰年生まれの方の抱負２/３

（生年月日順）

■二階堂　保夫さん



（１９５２年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。

還暦が過ぎ、あっという間に古希を迎え、時の経つのは早いもので今年６回目の年男を迎えることができました。家族は勿論、お世話になった方々に感謝申し上げます。

次の目標は喜寿を目指しますが、最近は病院通いも多くなり不安要素解消のため適度な運動（ウォーキング七千歩）で体力づくり、冬季以外は毎日畑に行き野菜作りに専念、近所の先輩からご指導を受けたり、世間話しで談笑しながら気分転換を図り、健康維持に努めております。

まずは、何事をするにも健康第一ですので焦らず、無理せず、マイペースで行動、新型コロナも感染防止対策が緩和されたため、３年前の町内会役員時や近所の方との交流も大事にしながら貴重な時間を大切にし有意義な人生を過ごして行きたいと思います。

最後に皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

■鈴木　高純さん

（１９５２年生まれ）

新年あけましておめでとうございます。

昨年投稿依頼が届き始めて来年は年男であることを知りました。

耳が少し遠くなったものの元気に今日を迎えられたことに感謝し、これからも趣味のテニスやスキーで子供たちの役に立てる様に楽しんでいきたいと思います。感謝！感謝！

■山田　　斉さん

（１９５２年生まれ）

６回目の年男になるので、同年代の方と同じ様に暮らしします。

一昨年に父を亡くし、１人暮らしとなった母を、実家が有る八戸の高齢者施設へ入居させました。

昨年は、墓を建て、納骨、新盆、一周忌、そして２か月毎の母の通院と、八戸へ何回か往復しました。

今年は、母も施設の暮らしに慣れて来たし、コロナの影響も少なくなったので、旅行にでも行くか？と妻と話しています。

■大槻　芳治さん

（１９５２年生まれ）

今年もあとわずかになりましだ。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

私はNTTを退職後、第2の職場としてNTT大町ビルに勤務しておりましたが、現在はそれもやめて家の農業をしながら悠々自適に過ごしております。これからも健康に気をつけながら頑張りたいと思います。

皆様にまたお会いできる日を楽しみにしております。

■池田　吉明さん

（１９５２年生まれ）

新年あけましておめでとうございます。

今年６回目の年男を迎える事となり、「歳を取ったなー」としみじみ実感しております。

仕事を辞めてから、何の取柄もない自分が何をして過ごしたらよいか考えていたところ、直ぐに近場で夏季期間の、仕事が見つかり勤めることができ、現在も続いています。

また趣味の方では、サークル（里山トレッキング・麻雀）等へ参加をし、心身共健康で楽しんで生活している現在です。

これからも健康に留意して過ごしていきたいと思います。

■佐々木　俊美さん

（１９５２年生まれ）

新年明けましておめでとうございます。NTTグループ引退後は、介護などあっという間の６年間でしたが、時に火野正平ばりのポタリング、時に錦織ばりのテニス、時に高くついた日曜大工、そして無人化した実家の管理と現在も“ユルユル人生”を謳歌中です。

節目の今年は、先輩諸兄の助言と孫パワーのおっそわけを糧に実家整理、修理の資格取得そして簡単なボランティアにも挑戦してみようっと。皆様もお元気でお過ごしください。

辰年生まれの方の抱負３/３

（生年月日順）

■荒木　省一さん
（１９５２年生まれ）

明けましておめでとうございます。今まで大きな病気やケガもなく過ごしてこられたことは、家族はじめ多くの皆様のおかげと、心より感謝しているところであります。

しかし、歳を重ねるごとにその体は徐々に劣化してきているようです。長年続けてきた登山やスキーでは、ハーハー言いながら皆さんに着いて行くのがやっとの状態です。そんな登山、スキーですが、今年も仲間の皆さんと一緒に行けるように、少しはトレーニングをしなくてはと思っている今日この頃です。登山は月山、船形山、那須等熊に注意しながら、スキーは田沢湖、蔵王等に出かける計画でおります。

また、ボケ防止と思って始めた携帯電話各社の仕事も、もう5年になりますが、結構楽しくやることが出来て、あと2～3年は続けていきたいと思っております。

いずれ、心身の健康が一番なので、無理をしないでへたなゴルフもやりながら、のんびり生きて行こうと思っております。

最後に皆様の今後ますますのお幸せをご祈念申し上げます。

■鈴木　義典さん
（１９５２年生まれ）

新年あけましておめでとうございます。

６回目の年男、迎えてみると年を重ねる早さを実感してしまいます。

今でも、週３日の仕事をしていて、休日は外出することが楽しみなので、ドライブ（道の駅巡り等）、ゴルフなどをして飛び回っています。

今年も継続して出来るように、健康第一で楽しい日々を過ごして行きたいと思っています。

■真藤　和雄さん
（１９５２年生まれ）

皆様、新年おめでとうございます。

契約社員を最後に、仕事を完全に終了してから、もう六年が過ぎました。あっという間に過ぎてしまった感じです。現在の生活パターンは、自分で、やりたいことを決め、それを実行し、楽しい自由な時間を満喫しています。

一日が短く感じます。しかし、だんだん疲れが長引き、年齢とともに体力の衰えを感じます。肩こり・腰痛・関節の痛みや、つまづいて転んだり、若い時には、考えられなかったことです。

家族に迷惑をかけないように、健康に心がけ、大好きな酒は、晩酌の量を減らし、休肝日も作りました。体力維持として散歩や庭の手入れ等をして積極的に体を動かしています。

これからも、少しでも長く健康で過ごせるように続けて行きたいと思います。

■佐藤　峰雄さん
（１９５２年生まれ）

明けましておめでとうございます。

昨年からシルバー人材センタで草刈り作業をやり健康に過ごしております。草刈りをしているとき、気がつくと作業に没頭しています。何も考えずひとつのことに集中する時間がすごく心地よくて、エネルギーがチャージされた感じです。

近くに畑を借りて本格的に家庭菜園も始めました。まだまだやりたいことがいっぱいあり充実した日々をすごせそうです。

■佐藤　公広さん
（１９５２年生まれ）

３８年ぶりの「アレ」に感動した今年！！

来年は「龍虎」のセリーグになるかも
私もますます飛躍の年にしたいと思います。
あまり無理せず、ゆっくり頑張ります。

《その他の年男の皆さん》

［1940年生］
水野　一平さん　　菊田　健一さん
齋藤　　誠さん

趣味のコーナー　１／２

■山田　斉さん

～真空管アンプを作っています～

私の趣味は「オーディオ」です。

福島市とその近郊の方が集まる「福島オーディオ愛好会 」へ完全退職した４年前に入会しました。以前、趣味のコーナーに掲載された、杉さんも会員です。

音楽を聴く事が好きな約２０名の 集まりで、ＪＡＺＺやクラシック等の音楽ソフト（レコード・ＣＤ等）を沢山お持ちで詳しい方、音楽を演奏するアンプやスピーカ等のハードを自作する方が居て、毎月の例会を中央学習センターで開催しています。

例会では、会員が交代で「推薦曲」の音楽ソフトを発表します。１人当たりの持ち時間は約１時間で、毎回２人が担当します。試聴装置には私の作った真空管アンプを使っています。

私が初めて作ったアンプは、中学2年の時にベンチャーズや加山雄三のＥＰレコードを聴くために、有り合わせの板で作ったスピーカボックスとラジオを分解した部品で作った、モノラル（１チャンネル）です。出力トランスだけは新品を使いました。

中学生では、お金が無く部品を売っている店も少なくて、ステレオを組めませんでした。

高校生になると、通信販売も有りましたが、八戸のオーディオ機器を扱う店でも修理等の為に部品を取り寄せてくれる事が分かり、出力トランスを購入してトーンコントロール付きのステレオアンプを作りました。３ケ月も過ぎない内に、同級生が買い取っていきました。

高校卒業後は、秋葉原に近い学校に入学し、電気音響を勉強しました。

そんな環境なので、指導いただいた先生や先輩達もオーディオが好きな方々で、各々自作しているアンプやスピーカの話題を毎日の様にしていました。もちろん、使っているのは、もう真空管では無くトランジスタでした。

但し、実験設備のうち超音波を出力する大型装置は真空管を使っていました。

電電公社に入社し会津若松に勤務した時に、無線中継所から設備更改で撤去・廃棄する装置に真空管が使われており、電信機械のＴ係長がオーディオアンプに使える物が無いか調べていました。

そのＴ係長のご自宅では、ＪＢＬのスピーカとサンスイのアンプがメインでしたが、自作した真空管アンプを聴かせていただき、自分もまた真空管アンプを作ろうと思いました。

その後は、音が良いと評判の真空管や部品を変更しながら、作ったり解体したりの繰り返しですが、その経緯は長くなるので省略します。

また、東京や仙台の勤務が多く、部品等の調達が容易なので、単身赴任中にも作りました。

これ迄に手掛けた自作品やメーカ品の修理・改造は、２０台を超えますが、数台は人手に渡りました。

昨年、義理の弟が知人の店で、真空管アンプが欲しいとの事で１台使って貰っています。

店主がバンド仲間と聞いたので、出力トランスにフェンダーのギターアンプ用を使い、トラブルが少ない様にシンプルな回路にしたアンプですが、スピーカとの相性が良いらしく気に入られた様です。

趣味のコーナー　２／２

現在、自宅で聴いているのは、直熱管を使用したアンプが主ですが、希少なので出力が小さいけどシングル増幅回路を使っています。自ずとスピーカは能率が良い物が必要で、ＪＢＬやＡＬＴＥＣの２ＷＡＹを自作や改造したボックスにセットして使っています。

しかし、自分が使っている約６畳の洋間は、オーディオ機器やパソコンが複数有り、その部品や書籍が山積みで、妻や子供から「ゴミを片付けろ」と断捨離を迫られています。

何故、今の時代に「真空管アンプを作るのか？」は、半導体はどんどん高性能の新しい物が開発され、旧い物は生産が終わります。その期間もだんだん短くなっています。

スタジオ等プロオーディオの現場では、故障しなくても新しい機器への入換えをします。

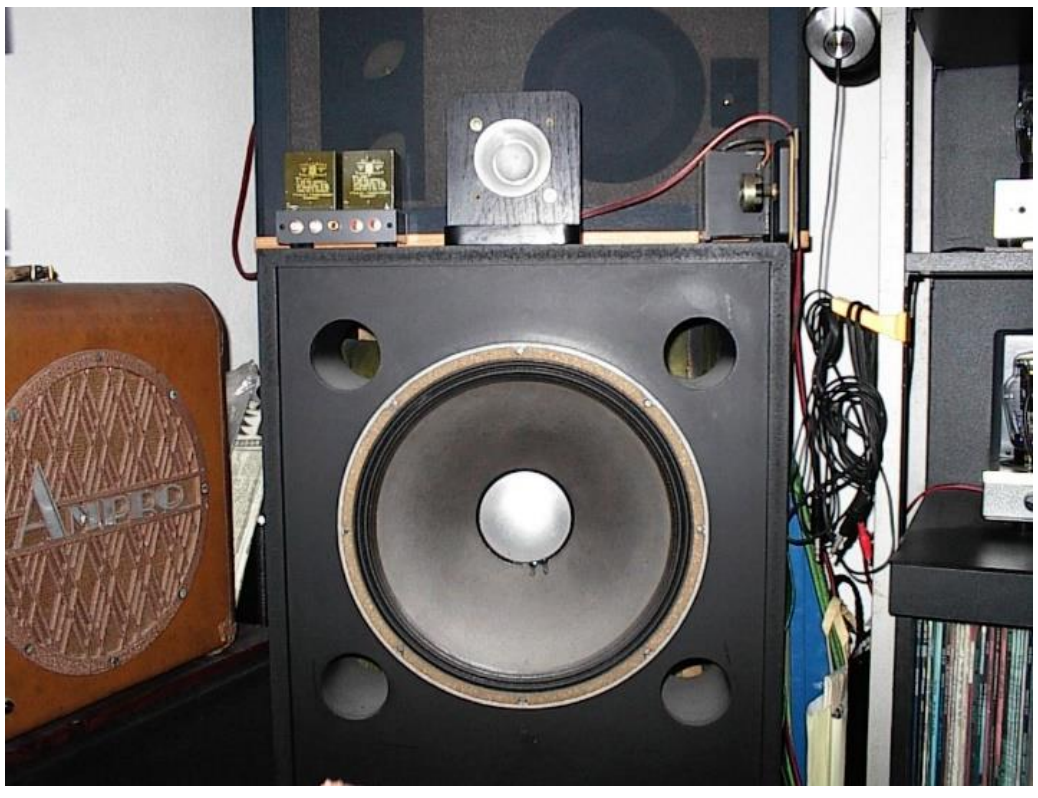
個人でも最新の機器に取替えるのが好きな方と、気に入った機器を修理しても使う方に分かれると思います。ゴルフのクラブと同じかな？

生産終了の半導体にも互換品が有りますが、プリント基板が主体の半導体アンプでは修理や改善改造に部品の取替えが難しく、手配線の真空管アンプはそれが容易で弄り代が大きい。

真空管自体は、ギターアンプに使用されている物は、ロシアや中国で生産されていますが、私はストック品で間に合わせています。

真空管アンプの基本的な回路は、出尽くしていますが改良に向けて考えたり、ドリルで穴開けや半田付け等で手を動かすので、ボケ防止には良いかと思っています。

トランス等主要部品のストックが５台分有るので、元気な内に作りたいと考えています。



施策の取り組み

■福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトへの協力ありがとうございました。
収穫者は ２名、収穫量は ３.２８kgでした。
ひまわりの種は１０月２０日にＮＴＴ福島支店へお届けしました。
来年も協力をお願い致します。

■「NTT東日本ふくしまの森」プロジェクトへ参加しました

ＮＴＴ東日本宮城事業部グループでは、２０１７年に「ＮＴＴ東日本ふくしまの森」として、相馬市磯部字大洲地区の国有林地内に海岸防災林の再生のための植樹を実施し、成長活動として下草刈り等を行っています。

今年も１０月１４日にＮＴＴ東日本（宮城・福島）と福島地区電友会及び相馬地区電友会（７名参加）合計３１名が参加し除草作業を行ないました。

■食用廃油の回収活動の状況

地球環境保護活動として、各会員の皆様及び介護施設・保育園・食堂から出る食用廃油の回収に協力頂きまして有難うございます。

回収した食用廃油は、二本松の障害福祉サービス事業所（菊の里）でバイオディーゼル燃料として生まれ変わり、環境保護活動に寄与しています。

11月末累計で、353.5ℓとなっております。
会員の皆様、ご協力をお願いします。
お問い合わせは、事務局へご連絡ください。

■不良設備情報の提供

今年度の取り組みについては、地区だより等でお願いをしていますが、会員からの提供は3件となっており、NTTへの報告は事務局からWeb登録しました。
更なる情報の提供をお願いいたします。

訃　報　情　報

「前号（R5.8.1）以降に連絡のあった方」

■ご冥福をお祈りします

○長堀　正志　様
（令和5年8月13日　　享年72歳）

○半澤　幸一　様
（令和5年9月13日　　享年94歳）

○東城　為雄　様
（令和5年10月15日　享年85歳）

事 務 局 だ よ り

≪3月までのスケジュール≫

１．「新春の集い新年会」
コロナ禍で３年間中止しておりましたが、今年の「新年会」は、下記のとおり開催致します。

記

1. 実施日　令和６年1月２４日（水）
2. 時　間　１４時～１６時
3. 場　所　福島テルサ（２階）

２．第４回役員会議
日時：３月中旬予定
場所：花園ビル２Ｆ会議室（未定）

【参　考】

なりすまし詐欺に注意！！